

中学1年生 数学 第3回

単 元：第1章 正の数・負の数

内 容：教科書 p, 17~18

持ち物：教科書、ノート(B5)、定規

進め方：動画を見ながら、ノートに書いて学習
していきましょう。

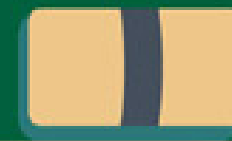
※ノートの書き方は、次の画面で説明します。

月

日

曜日

日直



【ノートの書き方】

- 本時の目標 →すべて書きましょう。
- 例題 →すべて書きましょう。
(解き方も書く)
- 動画の中の問題 →解答のみでもよい。
- ポイント(まとめ) →すべて書きましょう。
- 教科書の問 →解答のみでもよい。
- 教科書の練習問題 →解答のみでもよい。

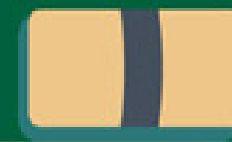
月

日

曜

日

直



第1章 正の数・負の数

1節 正の数・負の数

ノートに目標を書こう！

本時の目標

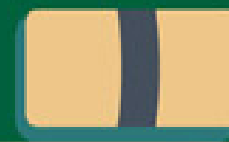
- ・ 反対の性質をもつ量、基準を決めたときの量の表し方を考えよう。

月

日

曜日

日直



反対の性質をもつ量について考えよう

例えば、

- ・ お金（収入と支出、利益と損失）
 - ・ 方角（北と南、東と西）
- など・・・

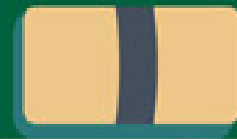
→ これらを正の数・負の数を使って表そう。

月

日

曜日

日直



次の画面は例題になります。
動画を一時停止し、ノートに
まとめましょう！

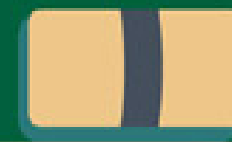


月

日

曜日

日直



例題①（収入と支出）



2000円の収入を、**+2000円**で表すとき、
1000円の支出を、**-1000円**と表される。

例題②（東と西）

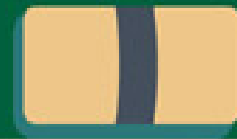
ある地点から**4km東の地点**を、**+4km**で表すとき、
ある地点から**2.5km西の地点**を、**-2.5km**と表される。

月

日

曜日

日直



次の画面は問題になります。
動画を一時停止し、問題を解
きましょう！

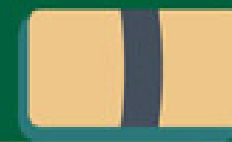


月

日

曜日

日直





問題①（利益と損失）

5000円の利益を+5000円で表すとき、
3000円の損失はどう表されますか。

問題②（高さ）

地上より200m高いことを+200mで表すとき、
地上より500mを低いことはどう表されますか。

答えは次の画面にあります。

月

日

曜日

日直



問題①（利益と損失）

5000円の利益を+5000円で表すとき、
3000円の損失はどう表されますか。

A、-3000円

問題②（高さ）

地上より200m高いことを+200mで表すとき、
地上より500mを低いことはどう表されますか。

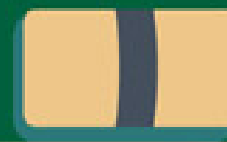
A、-500m

月

日

曜日

昼



次の画面は例題になります。
動画を一時停止し、ノートに
まとめましょう！

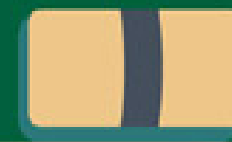


月

日

曜日

日直



基準を決めたときの量の表し方を考えよう

例題（目標を基準にして）



Sくんは、野球の試合で2本のヒットを打つことを目標にしている。

このとき、目標としていたヒット数との違いは、

3本のヒットを打つと、

1本のヒットを打つと、

と表される。

+や-を使って表してみよう。

答えは次の画面にあります。

月

日

曜日

日直

基準を決めたときの量の表し方を考えよう

例題（目標を基準にして）

Sくんは、野球の試合で2本のヒットを打つことを目標にしている。

このとき、目標としていたヒット数との違いは、

3本のヒットを打つと、+1本

1本のヒットを打つと、-1本

と表される。

月

日

曜日

日直



次の画面は問題になります。
動画を一時停止し、問題を解
きましょう！

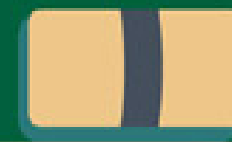


月

日

曜日

日直



問題（基準に決めたときの量の表し方）

ある中学校で、昼休みに外に出て過ごす生徒数の目標を、1日200人としていました。ある1週間に、実際に昼休みに外で過ごしていた生徒数を調べたところ、下の表のようになりました。

この表の空欄をうめなさい。

曜日	月	火	水	木	金
生徒数	195	203	193	200	210
目標（200人）との違い					



月

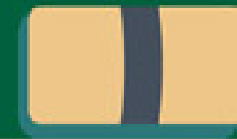
日

曜日

日

日直

答えは次の画面にあります。



問題（基準に決めたときの量の表し方）

【解答】

ある中学校で、昼休みに外に出て過ごす生徒数の目標を、1日200人としていました。ある1週間に、実際に昼休みに外で過ごしていた生徒数を調べたところ、下の表のようになりました。

この表の空欄をうめなさい。

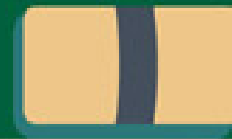
曜日	月	火	水	木	金
生徒数	195	203	193	200	210
目標（200人）との違い	-5	+3	-7	0	+10

月

日

曜日

日直



<今まで>

反対の性質をもつ量

例えば、「多い」  「少ない」

反対の意味

<今回、負の数を勉強したことによって>

その一方の言葉だけで表すことができる。

例えば、10個多い  -10個多い

反対の意味

つまり、10個少ない  -10個多い

同じの意味

月

日

曜日

日直



次の画面は問題になります。
動画を一時停止し、問題を解
きましょう！

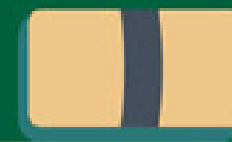


月

日

曜日

日直



問題

【 】内の言葉を使って、次のことを表しなさい。

- (1) 3個少ない【多い】
- (2) 4cm短い【長い】
- (3) 5kg軽い【重い】
- (4) 6円足りない【余る】



月

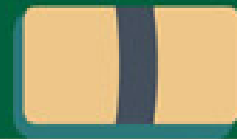
日

曜日

日

直

答えは次の画面にあります。



【解答】

【 】内の言葉を使って、次のことを表しなさい。

(1) 3個少ない【多い】

(2) 4cm短い【長い】

(3) 5kg軽い【重い】

(4) 6円足りない【余る】

(1) - 3個多い

(2) - 4cm長い

(3) - 5kg重い

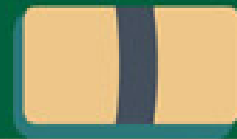
(4) - 6円余る

月

日

曜日

日直



ここまで教科書 p.17~18の内容を学習しました。



動画を一時停止し、

教科書 p.17~18の問1~問3を解きましょう。

答えは、次の画面で確認しましょう。

分からない部分は、もう一度動画を見直そう！

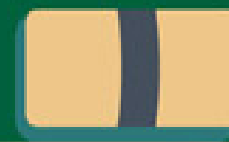
月

日

曜

日

直



【解答】

教科書p.17

問1 -500円

教科書p.18

問2

水	木	金
203	193	200
+3	-7	0

教科書p.18

問3 (1) -4個多い (2) -6cm長い
(3) -3kg重い (4) -10円余る

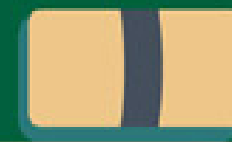
月

日

曜

日

直



本授業のまとめを自分なりに考えてみよう！

月

授業は以上で終わります。

この授業の内容をしっかりと復習しましょう！

日

お疲れ様でした。

曜

日

直

ここまでで
チェックノート p.2~3
ができます。

